

三重県交通安全研修センター一応より

～三重県交通安全研修センターをご存知ですか？～

幼児から高齢者まですべての方が、日常生活の中に潜んでいる交通に関する様々な危険について学習し、楽しみながら身をもって交通ルールやマナーを学ぶことが出来る施設です。
団体研修も行っています！

ご利用はすべて無料！

- ♪開館時間：午前 9:30～午後 4:30
- ♪休館日：土曜・祝日・年末年始
(12/29～1/3)
- ♪(TEL) 059-224-7721
- ♪(FAX) 059-224-7641
- ♪〒514-8518 津市垂水2566
(三重県運転免許センター4階)
- ♪<http://www.safetyplaza-mie.com>

～聞く・見る・体験する～

シミュレータ

あなたの反応時間は？
的確な判断できる？



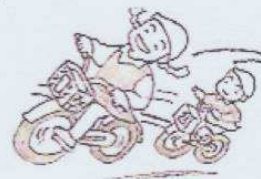
展示ゾーン

どんな危険があるの？
夜間・死角・交差点…



自転車コース

ルール知ってるかな？
自転車も車の仲間だよ



実車体験

いざという時大丈夫？
車は急にとまれない！



実際に聞いて・見て・体験することが大切です！一人でも大丈夫、お気軽にお越し下さい。
団体研修はお電話でご予約下さい。お待ちしております！

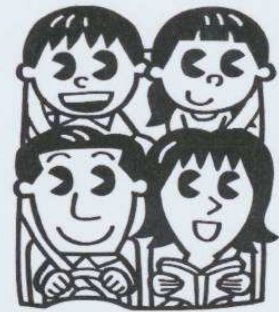


高速道路走行の心構え

高速自動車国道や自動車専用道路（以下高速道路という）は、長距離移動をするためにはとても便利なものです。しかし、スピードが増すので、思いもかけないような大事故につながる可能性があります。高速道路を走行する前には、車の点検を確実にし、無理のない運転計画を立てるなど、しっかり準備をするとともに、高速走行の危険性を自覚し、慎重な運転を心がけるようにしましょう。

（１）まずは車を点検しましょう

- ① 燃料の量が十分であるか。
- ② 冷却水の量が規定の範囲内にあるか。
- ③ ラジエータキャップが確実にしまっているか。
- ④ エンジンオイルの量がレベルゲージで示された範囲内にあるか。
- ⑤ ファンベルトの張り具合が適当であるか。また、損傷がないか。
- ⑥ タイヤの溝の深さが十分であるか。
- ⑦ タイヤの空気圧が適当であるか。（やや高めにする）



点検不足により、高速道路で停止してしまうことがないように、十分気をつけましょう。

（２）走行中に注意すること



本線車道に合流するとき

ベテランドライバーでも本線合流は緊張するものですね。ポイントは加速車線での十分な加速です。合流のタイミングは、早めに速度が上がっているほど、見つけやすいものです。なお、加速車線は空港の滑走路と同じように、十分に加速できる長さで設計されているので、焦る必要はありません。

高速での急ブレーキや急ハンドルは大変危険です

急な操作を避けるためにも、走行中は、他車との車間距離を十分にとりましょう。また、標識や標示で、最高または最低速度が指定されているところでは、きちんと認識して守りましょう。

やむを得ず、駐停車しなければならない事態が起こったとき

高速道路上は大変危険です。左端に寄せて、停止表示器材を置き、必要な危険防止措置をとった後は、ガードレールの外などの安全な場所に避難しましょう。車に残っていても危険です。

高速道路でもゆっくり走らなければならない所があります

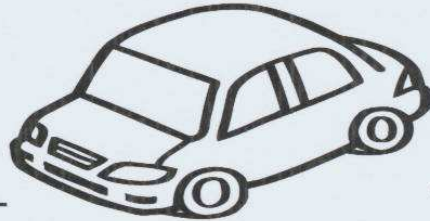
高速走行に慣らされた運転手は、料金所やSA（サービスエリア）・PA（パーキングエリア）で減速したつもりでも、まだ想像以上の速度が出ていることがあります。メーターで確認しながら、しっかりと速度を落としましょう。

また、ETCシステムの料金所で、減速を怠ることは大変危険です。車載器とアンテナの交信エラーや、カードの入れ忘れなどで、通過しようとした時に思いがけずゲートが開かない！という事態も起こりうるのです。同じ理由で前車が急停止することもあります。車間距離をとり、いつでも安全に止まれるように、ゆっくりと進んでください。

エコドライブ

車から出る二酸化炭素は、地球温暖化の原因の一つです。また、最近のガソリン価格の変動に頭を痛めている方も多いのではないのでしょうか？二酸化炭素の出る量を減らすとともに、燃費改善や安全運転につながる「エコドライブ10のすすめ」を、毎日の運転で実行しましょう。環境にも、人にも、お財布にも優しい運転です。

- ① 燃費改善と安全運転につながる、やさしい、緩やかな発進。
- ② 燃費改善と追突事故防止につながる、車間距離をとった加速減の少ない運転。
- ③ 燃費改善とブレーキオイルの沸騰などによる事故防止のために、エンジンプレーキの使用。
- ④ タイヤの空気圧不足は燃費悪化と事故原因になる場合もあるため、定期的なチェックをする。
- ⑤ 不要な荷物は燃費悪化と事故原因になる場合もあるため、車に積んだままにしない。
- ⑥ 渋滞を引き起こして余分な排出ガスを出し、事故原因になる場合もあるため、駐車する際、場所には注意する。
- ⑦ エアコンの使用は控えめに。
- ⑧ アイドリング・ストップの励行。
- ⑨ 暖気運転は適切に。
- ⑩ 道路交通情報の活用。



出前研修やっています！！

「交通安全を楽しく学びたい」「保育園児・幼稚園児、小学生、中学生などに交通安全の指導をしたい」と思っても『どのように指導したらよいかわからない』『交通安全研修センターに行くには遠くて時間がない』『人数が多くて乗り物に困る』という団体様に、当研修センターでは、出前研修を無料で実施しています。歩行者及び自転車利用者としての、技能や必要知識（ルール）等を身に付けていただけるよう、お子様から高齢者の方まで、皆様に合わせた内容を用意しております。お気軽にお問い合わせの上、是非ご利用ください。



研修内容

- ☆歩行（信号の見方・交差点の渡り方等）
- ☆自転車（乗り方・止まり方・法規走行・技能走行等）
- ☆研修車両に同乗でのシートベルト体験
- ☆講話・ビデオ 等

【お願い】

出前研修では、資機材設備の関係もあり、ある程度限られた研修内容になってしまいます。お近くの団体様は、是非、交通安全研修センターにお越しいただき、受講くださいますようお願いいたします。



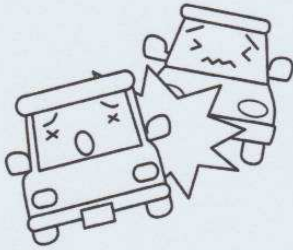
これからの季節

どんな事に気がつけたらいいか考えてみませんか？



秋には秋の、冬には冬の交通事情があります。

快適で安全なドライブのためには、それぞれのシーズンに対応した運転が必要です。



秋ならではのスリップ事故にご注意！

11月

秋も深まると、落ち葉が舞って、山道や街路樹のある道路の路肩部分に積もっているのをよく見かけます。

実はこれが予想以上に滑ります。やむを得ず、路肩部分を通る場合は、十分に速度を落とし、注意して通りましょう。

飲酒運転、絶対にしないで！！

この時期は、忘年会や新年会などで、お酒を飲む機会が増えることと思います。飲酒運転はドライバーに重大な悪影響をもたらす「危険な運転」「悪質な運転」と誰もが理解しているはずですが、飲酒運転の事故・検挙が後を絶ちません。

12月・1月



- 土曜日と日曜日に多い。
- 酔いの自覚のない軽度の飲酒による事故が多い。
- ベテラドライバー、その中でも30～40代による事故が多い。
- 「飲酒なし」の事故に比べ、高い速度での事故が多く、致死率は6倍以上も高い。

これは、飲酒運転の事故による特徴です。

酔っている時は、気が大きくなったり、興奮状態になったりするので、なんでも「大丈夫」と言ってしまうがちです。しかし、飲酒は運転能力や危険を予測する判断能力に大きな影響を与えます。ほんの少しだから大丈夫というのは錯覚です。

また、二日酔いでも飲酒運転になることはご存知ですか？

一般的に日本酒5合を飲んだ場合、ゼロになるまでに12時間、道路交通法の基準以下になるまでに9時間かかると言われます。夜中の12時まで酒を飲んでいたら、完全に体内からなくなるのは、昼の12時。そして、二日酔いと言えども、午前9時までは『飲酒運転』という違反を犯していることとなります。例えば、朝の通勤で運転した場合も該当してしまいます。さらに、昼の12時以降で、お酒が抜けたとされる時間を超えても、二日酔いの状態では、まだ運動や判断能力は完全ではないと言われています。当日だけでなく、翌日の予定も考慮し、運転の予定があれば、絶対に深酒をしないようにしましょう。「飲んだら乗らない、乗るなら飲まない、二日酔いでも乗らない」と覚えておきましょう。

お酒は『百薬の長』とも言われます。状況をきちんと判断して、節度を守るようにしましょう。